

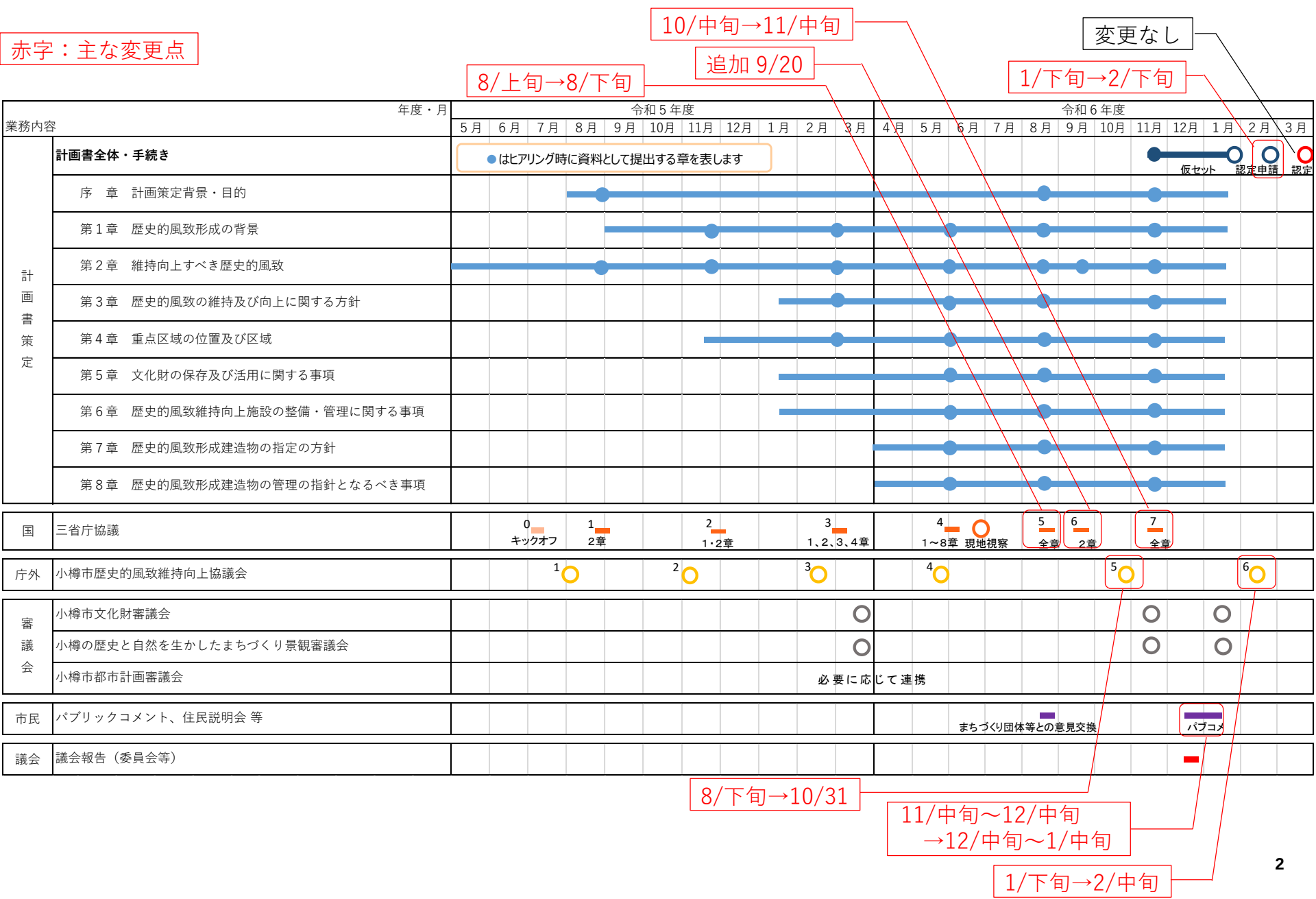
(1) 報告事項

小樽市歴史的風致維持向上計画の策定について

- ① 計画策定スケジュール（案）
- ② 国の担当者による現地調査
- ③ まちづくり団体等との意見交換

① 計画策定スケジュール（案）

赤字：主な変更点



② 国の担当者による現地調査

●開催日

- ・令和6年6月28日（金）

●国の担当者（出席者）

- ・文部科学省 文化庁文化資源活用課 2名
- ・国土交通省 都市局 公園緑地・景観課 景観・歴史文化環境整備室 3名
- ・北海道開発局 事業振興部 都市住宅課 4名

●現地調査の主な経路（重点区域（案）の付近）

[午前]

小樽駅 → 建設部庁舎 → 第3号埠頭
→ 小樽市総合博物館本館

[午後]

小樽市庁舎 → 住吉神社 → 旧岡崎倉庫
→ 龍宮神社 → 市立文学館・美術館
→ 旧色内銀行街 → 旧魁陽亭 → 水天宮
→ 小樽駅

●結果

- ・歴史的風致及び重点区域に関する否定的な意見なし。



③ まちづくり団体等との意見交換

概要

●開催日：令和6年8月23日（金）

●出席団体

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| (1) 小樽・朝里遺産の会 | (10) オタルネクスト100実行委員会 |
| (2) 小樽・朝里のまちづくりの会 | (11) NPO法人小樽民家再生プロジェクト |
| (3) おたる案内人ボランティアガイドの会 | (12) 塩谷桃内まちづくり推進委員会 |
| (4) 小樽石蔵再生会 | (13) NPO法人北海道鉄道文化保存会 |
| (5) 小樽運河新世紀フォーラム | (14) 蘭島まちづくり景観協議会 |
| (6) 小樽おもてなしボランティアの会 | (15) NPO法人歴史文化研究所 |
| (7) 小樽観光ガイドクラブ | |
| (8) オタル クリエイティブ プラス | |
| (9) 小樽住ノ江火の見櫓をまもる会 | |

合計：15団体（17名）

●会議の目的

まちづくり団体等と意見交換を行うことにより、歴史的風致の構成要素に追加すべきものがないか、歴史的風致及び重点区域の範囲が適切かどうかを確認する。

	主な意見	当日の市の回答
1	西部地区の埋蔵文化財に関する視点が抜けているのではないか。	埋蔵文化財があるだけでは歴史的風致として設定できない。なお、第5章（文化財関連）に埋蔵文化財の取り扱いを記載している。
2	杵里神社が松前神楽伝承の地といわれている。また、朝里川河口の太平山神社に歴史的な石碑もあることから、これらを計画に反映してほしい。	朝里地区の活動は認識している。歴史的風致として設定が難しいものもあるが改めて検討する。
3	水天宮付近は、豪商たちの城下町ともいえる場所である。歴史的建造物を活用したまちづくりという点でも旧寿原邸は活発であり、おたる案内人も来ることから、歴史的風致の範囲に含めたほうがよい。	おたる案内人の基本的な案内経路を踏まえて歴史的風致を設定していた。旧寿原邸の取組を踏まえ、歴史的風致の範囲に含めることを検討する。
4	歴史的建造物の耐震化に対する支援が必要である。	耐震化や構造補強は、外観保全に必要なものとして補助対象になると考えているが、補助金の上限額を設定することになるため、耐震改修のような高額な工事への手厚い支援は難しいと思われる。
5	市内に点在する木骨石造倉庫は、商都小樽のシンボルのようなものである。広域で認定するようなことができないか。	歴史まちづくり法は、建造物を広域で認定する制度ではない。

	主な意見	当日の市の回答
6	人材育成が重要であり、おたる案内人・ジュニアガイド、インタープリターなどの取組を強く打ち出すべきである。	活動は認識している。一部記載しているものもあるが、記載内容を検討する。
7	計画に係る理念やキャッチフレーズがあるとよい。	計画書の構成などを踏まえて検討する。
8	北運河に対する言及がない。半分埋めた運河とは別物と考えたほうがよい。	歴史的風致や重点区域の範囲に北運河が含まれており、記載内容を検討する。
9	船にまつわるもの、船の利用に関する記載がない。	船を歴史的風致として設定することが難しい。北前船がクルーズ船に変わったというだけでは歴史的風致として設定できない。
10	北運河を観光利用するために花壇や柵を整備していくことは可能か。	事業として実施されるのであれば、計画に位置付けることができると思われる。
11	おたる水族館について、歴史や海とつながるなどの特徴を記載してほしい。	おたる水族館は、歴史的風致として設定している。記載内容を検討する。
12	小樽公園には、都市の中心として造られた公園の歴史と多様な施設があり、これらを開発につなげることができれば、都市の魅力づくりになる。	歴史的建造物の保全事業などを優先しており、公園整備は2期計画などで検討するものと考えている。